

## 2023年度一般社団法人日本学生サーフィン連盟活動概要

2023年度については、ようやくコロナも5類に移行し従来の活動に戻り活動を実施して参りました。活動においては、競技を目指す学生にはJPSAシードクラスや、秋季大会団体優勝校にはチームチャレンジ枠などを取り入れ、ビギナークラスは大会に参加しやすくなるよう、新たにペアにて競技するプッシュクラスを取り入れるなど幅広く多くの学生が参加できるよう実施いたしました。

ただ会員数はコロナ規制明けで一挙に回復とはいかず、昨年はほぼ横ばいで推移しております。2024年度は多くの学生が参加できるよう昨年に引き続き施策を講じていく活動を進めて参ります。

### 活動の概要

- (1) 第52回 春季全日本学生サーフィン選手権大会  
第57回 全日本サーフィン選手権学連支部予選  
2023年6月10日(土)～6月11日(日)  
千葉県南房総市 千倉海岸  
エントリー人数延べ109名  
NSAの学連支部予選と春季学生選手権を設けての開催となりました。  
学生選手権はメンB、フレッシュクラスに加え、次年度のJPSAシード権をかけたスペシャルクラスを新設いたしました。  
今回より大会で標準化されているプライオリティルールを採用し  
競技の経過が個々の携帯でタイムリーに判るライブヒートを導入いたしました。
- (2) 第52回 秋季全日本学生サーフィン選手権大会  
2023年10月21日(土)～10月22日(日)  
千葉県 鴨川市 東条海岸  
現役学生 延べ122名エントリー、OB 延べ50名エントリー  
秋は、学生においても、支部予選とはまた、違った形で、サーフィンに対しての楽しみ、試合の形式など体験できるよう、ビギナークラスにペアで行うプッシュクラスを新設し、より多くの学生に大会に親んでもらうよう実施、パドルレースも復活開催となりました。  
OBクラスも65歳以上のグランドカフナクラス、ミッドレンジクラスを新設し幅広く参加頂きました。  
春季同様にライブヒートを実施し、合わせて学生のみUNIVASのライブ映像配信も実施致しました。

### 対外活動の概要

- (1) 一般社団法人日本サーフィン連盟主催  
第57回全日本サーフィン選手権への参加  
2023年9月30日(土)～10月6日(金)  
宮崎県宮崎市木崎浜海岸にて実施 学連支部より13名が選手として参加  
メンクラスで、石川拳大選手(神奈川大学OB)が見事優勝いたしました。  
石川選手は、第53回 優勝、第54回 準優勝、第55回 優勝、第56回 優勝と毎年素晴らしい好成績を残しております。  
同じメンクラスでは、藤本世音選手(国際基督教大学)が準優勝となり、2023年NSAメンクラスのグランドチャンピオンを獲得いたしました。  
同じくメンクラスの吉野菜選手(立教大学)も5位という好成績で、全国30支部中で団体5位という結果でした。
- (2) 一般社団法人日本プロサーフィン連盟主催  
JPSA 2023特別戦 さわかみ チームチャレンジへの参加  
2023年11月24日(金)  
千葉県勝浦市部原海岸にて実施  
第52回秋季大会団体優勝校日本大学の選抜選手4名、コーチ1名が代表として参加  
ラウンド1、2の合計で同ポイントであったがハイスコアチームが上位となり敗退  
日本のトッププロと同じヒートで対戦できたことは、参加選手にとっては非常に良い経験となりました。
- (3) 地域と次世代に向けた協力  
第4回 白渚feグロムチャレンジ  
2023年11月11日(土)  
千葉県南房総市白渚海岸  
NSSA備品の貸出協力